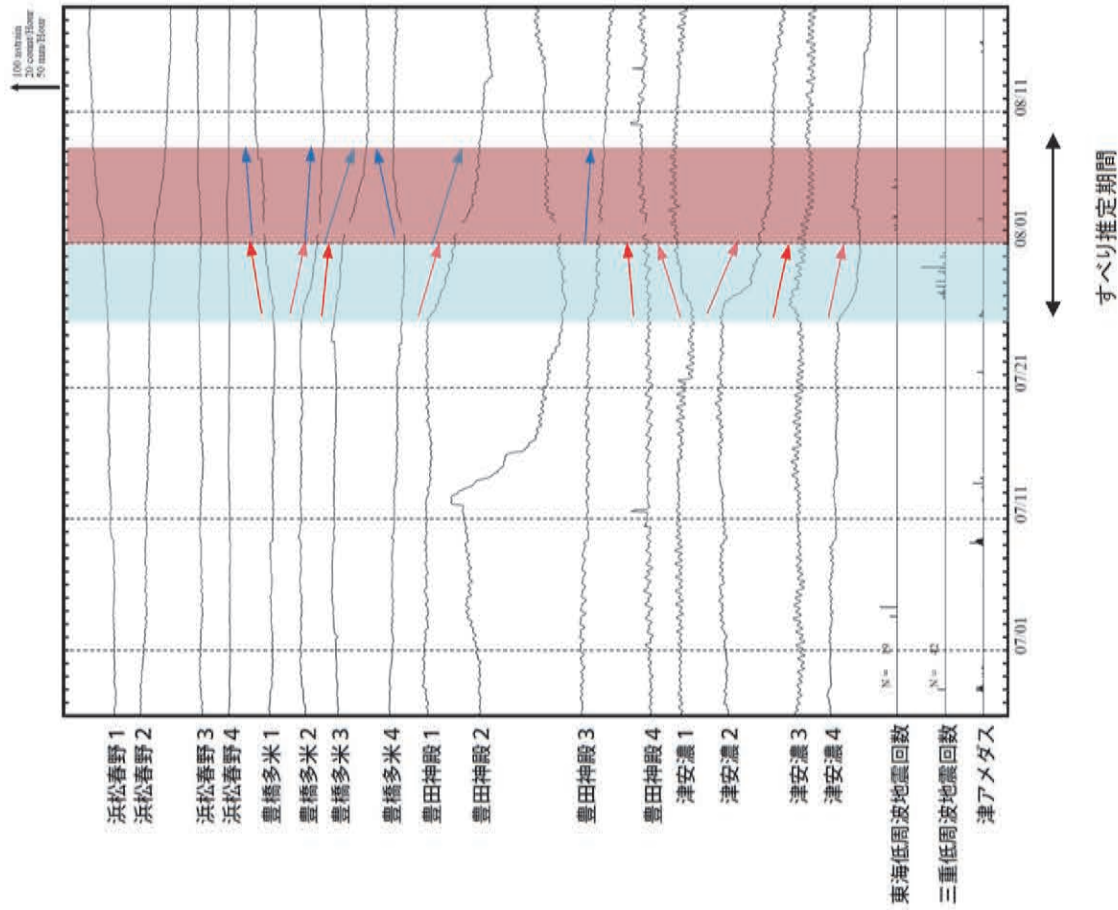
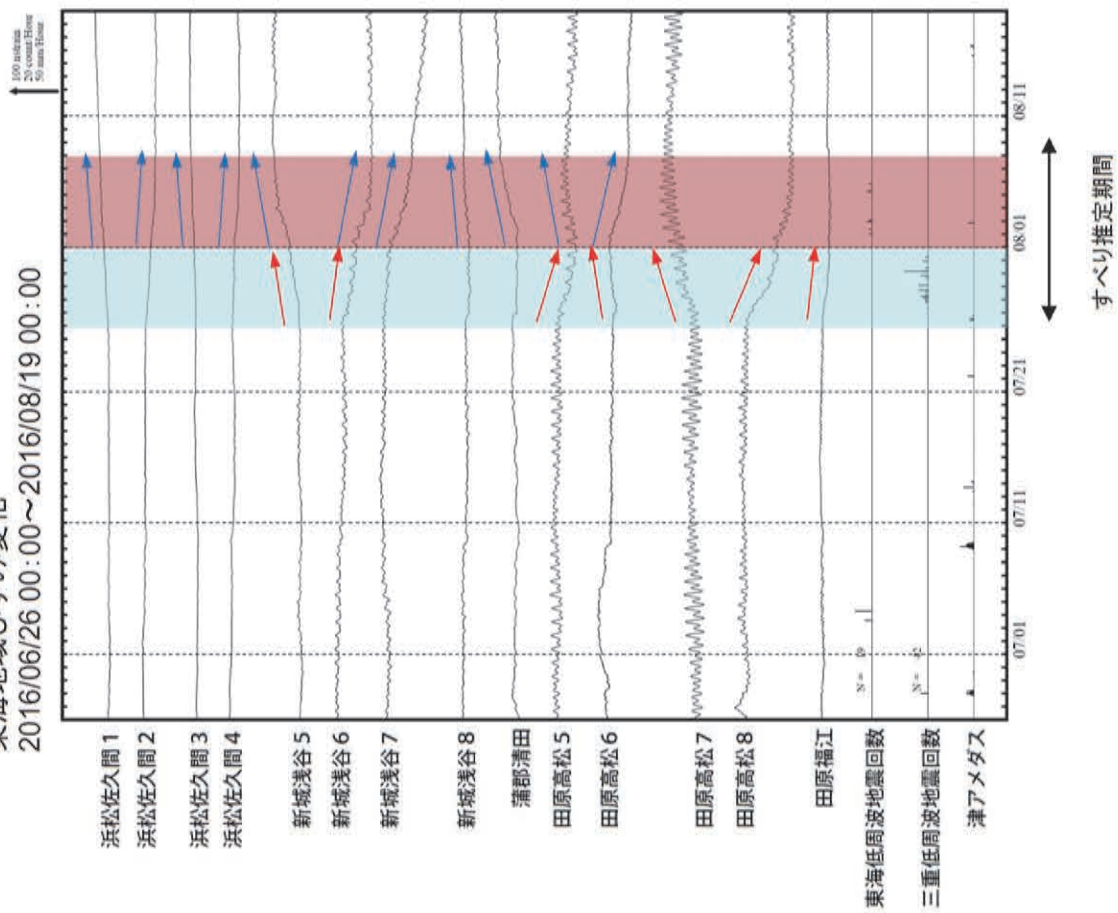


7月26日から8月7日にかけてのひずみ変化

東海地域ひずみ変化

2016/06/26 00:00 ~ 2016/08/19 00:00

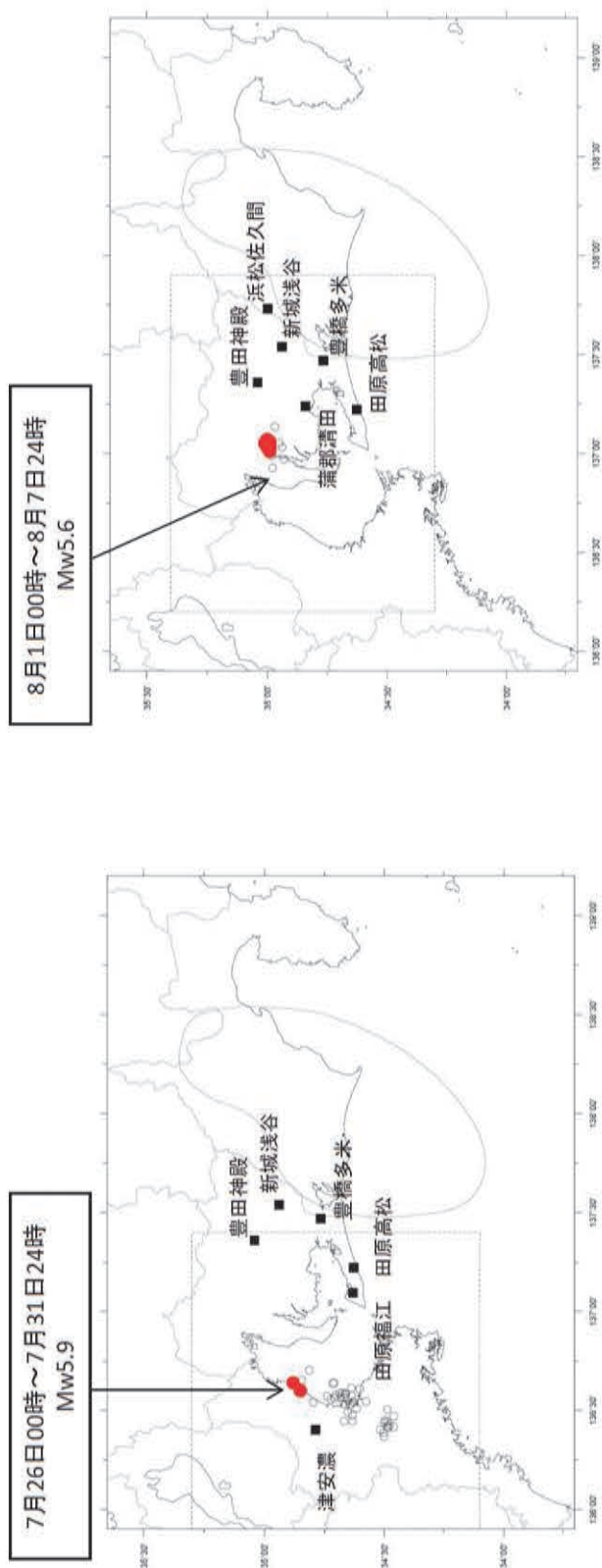


浜松春野は静岡県観測点である。
豊橋多米、豊田神殿、津安濃は、産業技術総合研究所の観測点である。

図 6 東海地域のひずみ変化

ひずみ変化を説明しうる断層モデル候補

ひずみ変化から推定されるすべり領域



すべり候補領域は、中村・竹中(2004)¹⁾によるグリッドサーチの手法※により求めた。プレート境界と断層面の形状はHirose et al.(2008)²⁾による。

※ すべて侵補領域の位置とその規模 (M_{W}) を、すべりがプレート境界面上でプレートの沈み込み方向と反対に発生したと仮定し、考え得る全ての解を前提として得られる理論値と比較し、合致するものを抽出する手法

- 1) 中村浩二・竹中晋, 東海地方のプレート間すべり推定ツールの開発, 駿震時報, 68, 25-35, 2004

- 2) Hirose F., J. Nakajima, A. Hasegawa, Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, *J. Geophys. Res.*, 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274, 2008

气象庁作成

図7 ひずみ変化を説明しうる断層モデル候補